

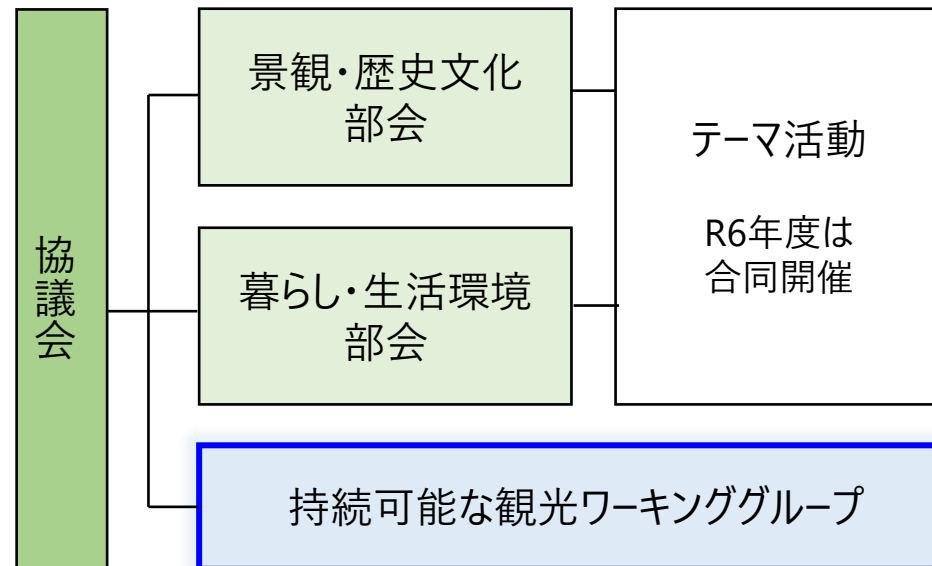
【資料 3】ワーキンググループの新設について

1. ワーキンググループの概要

1. ワーキンググループの概要

(1) 目的

- 名称 「持続可能な観光ワーキンググループ」
- 首里杜地区の暮らしに負荷をかけない持続可能な観光を目指し、関係者とともに観光指標の作成・検討を行うことを目的とする。
- 指標検討にあたっては「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」を活用し、必要なデータ収集を行う。
- ワーキンググループは部会と並列して設置され、その検討内容・結果は協議会で報告を行う。



●「日本版持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」とは

- 「住んでよし、訪れてよし」の観光地域づくりを実現するためには、観光客と地域住民双方に配慮し、多面的かつ客観的なデータ計測と中長期的な計画に基づく総合的な観光地マネジメントを行うことが重要である。
- 観光庁では、各地方自治体や観光地域づくり法人（DMO）が持続可能な観光地マネジメントを行うことができるよう、国際基準に準拠した「日本版持続可能な観光ガイドライン（Japan Sustainable Tourism Standard for Destinations, JSTS-D）」を開発した。



1. ワーキンググループの概要

(2) メンバー（案）

- ・ 協議会事務局のほか、地域住民、関連部局・団体（特に観光分野）等で構成する。

■首里杜まちづくり協議会 事務局

- ・首里杜まちづくり団体連絡協議会
（NPO法人首里まちづくり研究会）
- ・那覇市都市みらい部 都市計画課
- ・沖縄県土木建築部 首里城復興課
- ・受託者（サポート）



■関係者への呼びかけ

- ・地域（団体または個人）
- ・那覇市関係の観光部局、団体
- ・沖縄県関係の観光部局、団体
- ・その他関係機関
- ・研究者

■必要に応じてヒアリング・参加要請など

道路・交通部局、公園部局、文化財部局、有識者 など

(3) スケジュール

Nº	開催月	検討事項（予定）
1	R6.12月	・ 推進体制、進め方の確認 ・ JSTS-Dガイドラインを活用した取組み項目の検討
2	R7.1月～2月	・ 短・中期目標の設定 ・ 指標の設定